

# 平成18年度 電子・情報技術系技術講習会

佐々木敏幸

工学研究科・工学部技術部 電子・情報技術系

今年度は、より専門的な講習会とするため、情報系／電子回路系の技術分野毎に開催した。各班長がそれぞれ中心となって開催し、両講習とも大変興味深い内容で有意義な講習会となった。  
(技術分野毎の分離開催としたが技術系内での相互参加を考慮し、開始時刻を決めた。)

## 情報系講習会

日 時： 平成18年10月27日（金）9時50分～10時50分

場 所： 情報メディアセンターの端末室（B）

講 師： 情報管理技術班 技術主任 中務孝弘

内 容： 「学習支援者を育てる教材開発の紹介と演習」

従来より、授業設計において学習者の学習状況をモニターしつつ、適切な学習支援が行えるようにデザインすることが要求されている。しかし、実際の現場では、学習支援にかかわる労力や教育システム運営管理の複雑さから、実現が難しかった。近年、eラーニングの技術革新によって、教育システム全体の運営管理が可能となり、教育の質を高めるさまざまな事例が報告されている。そして、そのような諸技術をもった専門家としての学習支援者が重要視されるようになった。

今回の講習では、（1）e-Learningの分類 （2）大学におけるe-Learningの状況  
（3）e-Learningを支える技術と人材 （4）自主学習支援e-Learningプロジェクトについて、紹介および説明があり、その後、情報メディア教育センターの主センターラボの端末システムを利用して、実際のe-Learningによる学習と教材制作の一遍を習得した。

## 電子回路系講習会

日 時： 平成18年10月27日（金）11時～12時

場 所： 赤崎記念研究館 5階510室

講 師： 電子回路技術班 技術班長 熊澤正幸

内 容： 「電子回路用CADの利用法」

電子回路班では回路図を描くのに専用のCAD(Computer Aided design)ソフトあるいは一般の図形ソフトなど、各自がそれぞれのソフトウェアを使っている。各ソフトではファイルの互換性の無いものが少なくない。そこでデータの共有化を図る目的で共通の電子回路用CADソフトを習得することになった。市販のソフトを人数分購入することは予算的に極めて無理なため、多くのフリーソフトウェアの中で評判の良い、ドイツのCadSoft Computer, Inc.が提供している「EAGLE」を選定した。このソフトは英語版とドイツ語版があるが、英語版をダウンロードした。フリーのため機能制限はあるが、講習には不都合が無く、将来予算を獲得できれば完全版を整備することも可能である。リップフロップ回路でLEDを点滅させる簡単な回路を例にとり、まず環境設定、部品ライブラリーの使用法、各種ツールの使用法など基本的な作成過程を習得し、その概要が理解できた。習熟するには今後の継続的な演習が必要である。